

平成23年（行コ）第169号 公金支出差止等請求住民訴訟控訴事件

控訴人 市民オンブズパーソン栃木 外20名

被控訴人 栃木県知事 福田 富一

## 控訴審証拠説明書 9

2013（平成25）年11月1日

東京高等裁判所 第4民事部 御中

控訴人ら訴訟代理人 弁護士 大木 一 俊

甲号証	標目 (原本・写しの別)	作成年月日	作成者	立証趣旨
甲 B 217	判決書謄本	原本 2013/3/29	裁判所書記官花木佐和子	東京都民が提起した八ッ場ダム建設負担金支出差止等請求（住民訴訟）事件の控訴審判決の内容
甲 B 218	栃木県環境影響評価技術指針	抜粋 1999/6/11	栃木県	栃木県環境影響評価技術指針では文化財も環境影響評価の対象とされていること
甲 B 219	群馬県環境影響評価技術指針	抜粋 1999/5/31	群馬県	群馬県環境影響評価技術指針では文化財も環境影響評価の対象とされていること
甲 B 220	八ッ場ダム発掘調査集 成(1)	抜粋 2002/1/2/	国土交通省、財団法人群馬県埋蔵文	八ッ場ダム建設予定地では、1994年から2002年の発掘調査によって、縄文時代の集落の変遷を示

				化財調査事業団	す数多くの遺物等が発掘されたこと等
甲 B 221 の 1	東宮遺跡(1)	抜粋	2011/ 2 /	同上	八ッ場ダム建設予定地では、天明3年の浅間山大噴火に伴う泥流によって当時の生活がそのまま封印され、特に東宮遺跡では、これまでに例のない程の極めて良好な保存状態で被災した村が出土したこと等
甲 B 221 の 2	東宮遺跡(2)	抜粋	2012/ 3	同上	同上
甲 C 106	新水道ビジョン	写し	2013/ 2	厚生労働省健康局	「今後の人口の減少傾向は確定的であり、このことは水道にとって給水人口や給水量も減少し続けることを意味します。水道ビジョンの改訂までの時代は、水道は拡張を前提に様々な施策を講じてきましたが、これからは、給水人口や給水量の減少を前提に、老朽化施設の更新需要に対応するために様々な施策を講じなければならないという、水道関係者が未だ経験したことのない時代が既に到来したといえます。」との認識状況の下に定められたもので、以前にあった水源のバランス論はなくなり、重点的な実現方策にダウンサイジングを踏まえた施設の再構築等を挙げていること等

甲 C 107	壬生町議会 議事録	抜 粹	2012/6	壬生町議 会	2012（平成 24）年 6 月の壬生町町議会において、町長が「本町の水道水は地下水を水源としておりますので、河川の汚染等に影響されることなく、常に安全でおいしい水を供給しております」と答弁していること
甲 C 108	栃木市議会 議事録	抜 粹	2013/3	栃木市議 会議事録	2013（平成 25）年 3 月の栃木市議会において、市長が内海成和議員の質問に答えて「県が今つくろうとしているその考えた方には、理解は示せるという答えを市はしようとしています。では、そういう答えをすると、市は表流水を買わざるを得なくなるのかということではありますが、そういうことではありません。ただ、買う段になれば、それは当然有料ということになりますので、そのときにはお金がかかりますが、今回市が、県がつくろうとしている検討案に理解を示すと言ったからといって、そこで栃木市に買わなければならない義務が発生するわけではないということでございます。」と答弁していること等
甲 C 109	地 下 水 100%のおい しい水			昭島市公 式ホーム ページ	昭島市は、「地下水 100%のおいしい水」を積極的にアピールしていること。